

読めない、書けない市「兵庫県宍粟市」、「千葉県匝瑳市」地域交流企画

1. 目的

「読めない、書けない市」とされる「兵庫県宍粟市」「千葉県匝瑳市」は、難読市名を一つの地域資源と捉え、歴史ある市名を大切に守っていくとともに難読を逆手にとって両市の地域交流活動を全国に情報発信することで知名度の向上を図ることを目的とする。

2. 背景

平成の大合併以降、地域を活性化させるために様々な事業を展開しているが、全国的な少子高齢化の波には逆らうことができず、まちを元気にさせることができることが課題となっている。

そのような中、『日本の珍地名』（文春新書：竹内正浩著）で両市は「難読地名を逆手にとって、ぜひ全国にPRしていってほしい。」との記述をアドバイスと受け止め、市名の知名度を上げる取り組みとして、平成24年度宍粟市では、市の魅力を全国に発信するための手作りCMコンテストを計画し、各方面から大きな反響を得ている。

一方、匝瑳市においても、平成23年度より「ようこそ匝瑳へ！」キャンペーンとして観光宣伝活動を積極的に展開している。

難読市名の知名度向上という取り組みをきっかけとして、今後相互交流を深めながら地域課題の解決に向けて友好的な関係を築いていく。

※CMコンテスト情報発信

平成24年2月25日（新聞掲載）

平成24年4月3日（新聞掲載）

平成24年4月4日（新聞掲載、テレビ放映）

平成24年4月12日（ネット配信）など

3. 地域交流企画

（1）宍粟市マスコット「しーたん」、匝瑳市ご当地ヒーロー「ソーサマン」がイベントで共演する。



①宍粟市さつき祭り：平成 24 年 6 月 2 日（土）、3 日（日）

※匝瑳市からの出演

②千葉県観光物産大会：平成 24 年 11 月 1 日（木）

※宍粟市からの出演

（2）宍粟市「知名度アップCMコンテスト」へ匝瑳市から参加

4. 両市の概要

	宍粟市	匝瑳市
市 制 施 行	平成 17 年 4 月 1 日合併 	平成 18 年 1 月 23 日合併 
市 名 の 由 来	奈良時代に編纂された「播磨国風土記」によると、7 つの里をもって建郡された宍粟郡（しさはのこおり）に由来すると考えら、7 世紀末には「宍粟」と書かれている木簡が出土している。	平安時代前期の「続日本後紀」によれば、畿内（現在の近畿地方）の豪族であった物部小事（もののべのおごと）という人物が、坂東（ばんどう・現在の関東地方）を征した勳功によって、朝廷から下総国（現在の千葉県）の一部を与えられ、匝瑳郡（さふさごおり）としたことに由来する。
行 政 面 積	658.60Km ²	101.78Km ²
人口 (H23.3.31)	42,166 人	40,039 人
産 業 分 類 別 就 業 率	第 1 次産業 5.3% 第 2 次産業 42.4% 第 3 次産業 52.3%	第 1 次産業 16.7% 第 2 次産業 25.7% 第 3 次産業 57.1%
一 般 会 計 当 初 予 算 (H24)	219 億 4 千万円	147 億 2 千万円
知 名 度 向 上 の 取 り 組 み	・観光大使「しーたん」、しそう森林 王国女王による PR 活動 ・知名度アップ CM コンテスト	ご当地ヒーロー「ソーサマン」、ご当地銘菓「そうさまん」、ご当地アイドル「S☆cute」による PR 作戦